

令和6年度入学生向け

# 「履修登録」簡単マニュアル

～「自分の時間割」をつくるために～

## はじめに 高校までとの違い

### 大学にはホームルームがない!!

大学には、ホームルーム、つまり「自分のクラスの教室」がありません。授業（講義や演習=ゼミなど）は、すべて指定された教室や演習室で行われ、自分が受講する科目ごとに、それらの部屋に移動して受講することになります。

### 時間割は自分で作る!!

大学には「学年・クラスごとの時間割」がありません。時間割は1年間を前期と後期の2つに分けて、それぞれの学期ごとに全学年共通のものが用意されます。大学では授業1時限を「1コマ」と呼び、月曜日から金曜日まで1日5コマずつ、週25コマが配置されています。それぞれのコマには複数の科目が配置されています。各コマの中から自分が履修する授業を選択し（指定されるものもある）、届け出ることを「履修登録」といいます。その結果、各人に「自分の時間割」ができることになります。

### 卒業は獲得した単位数で決まる!!

大学では、登録した授業を半期のあいだ（一部は通年、つまり1年通しで）受け、それぞれの科目ごとに期末試験やレポート課題などにより評価され、点数がつけられます（評価方法はweb上の『シラバス』に、科目ごとに書いてあります）。この評価により60点以上の点数をとると、「単位」という一種のポイントがもらえます。このポイントは、それぞれの授業ごとに指定されており、『履修の手引き』の「カリキュラム表」に「単位数」として示してあります。このポイントを、指定された要件に従って取得し、卒業要件単位を満たすと、卒業が認められます（例外あり）。

### 大学の科目は大きく二つに分かれる!!

福井県立大学の授業は大きく「一般教育科目」と「専門教育科目」とに分かれます。それぞれで満たさなくてはならない単位数は、学部学科や、同じ学科でも条件によって異なります（『履修の手引き』1ページ）。たとえば、生物資源学科では最終的に「一般教育科目」を40単位以上、「専門教育科目」を90単位以上、合わせて130単位以上取らなければなりません。

### 履修しなおし（再履修）のチャンスはある!!

途中で出席できなくて出席日数が足りなくなったり、期末試験を受験しない、あるいはレポートの課題を出さなかったりすると、不合格になり単位が取得できません（病欠など、理由が考慮されることはあります）。不合格になった科目は、翌年以降開講される限り、合格するまで何度も履修できます。ただし、いくつかの科目は毎年必ず開講されるとは限りませんので、注意してください。

## 一般教育科目の履修について

### 一般教育科目の単位について

- 一般教育科目の卒業要件単位は、学部学科や、同じ学科でも条件によって異なります。『履修の手引き』23ページにある「一般教育の履修方法【24年度入学生】」で、自分の卒業要件単位を確認してください。
- 一般教育科目には、ゼミ・外国語・体育・情報からなる1単位の「基礎科目」と、色々な分野にわたる2単位の「自由科目」があります。

例：生物資源学部（学部学科により違う）

授業科目の区分		単位数	生物資源学部
基礎科目	導入ゼミ	1	1
	教養ゼミ		
	外国語		8以上
	体育		1以上
	情報		2以上
基礎科目必要単位数			15以上
自由科目	A群	2	10以上
	B群		
	C群		
卒業要件単位数			40

英語2コマ（英語Ⅰ＋英語Ⅱa/b 各1単位）は必修なので、それ以外に6単位を履修しなければならない  
 体育実技Ⅰは必修、ⅡとⅢは選択。各科目（種目ではない）1単位ずつ履修できるので、最大で3単位修得できる

上の数字を足すと12となり、あと3単位＝週1コマ授業3つの履修が必要。教養ゼミ・外国語・体育・情報などを履修する

「基礎科目15」＋「自由科目A群10」＝25となり、不足の15単位は、自由科目A・B・C群、基礎科目の教養ゼミ・外国語・体育で取る

### 抽選科目（導入ゼミ、体育、英語Ⅱa/b、英語以外の外国語）について

- 「導入ゼミ」「体育」「英語Ⅱa/b」「英語以外の外国語」には抽選があります。
- 4月3日(水)8:30から16:30の間に、大学ホームページにある「在学生の方」→「コンピュータの利用」→「履修登録・抽選・健康診断照会」→「履修抽選申請ログイン」にアクセスし、自分の受たい授業の抽選科目申請を行ってください。英語Ⅱa/b、英語以外の外国語は、必修科目が入っていない時間帯のコマから選びます（詳しくはこのマニュアル6～7ページ目の時間割の作り方参照）。自宅にパソコンがない方のために、第二共通情報演習室を開放していますので、大学に来て登録することも可能です。
- 抽選結果は、抽選科目を申請した登録画面の「履修抽選結果」で確認をしてください(このマニュアル3ページの履修登録スケジュールを参照)。
- 導入ゼミの抽選に外れた場合、県大HPの「令和6年度前期オリエンテーション」をクリックし、「定員に余裕のあるクラス一覧」から受たい授業を選択し、記載されたリンク先のGoogleフォームからその日(5日)の17:00までに再申請を行います。
- 導入ゼミの再抽選申請で、再びすべての抽選に外れた人・再抽選申請をしなかった人は、大学でゼミを割り当てますのでご了承ください。

## 履修登録のスケジュールと Web アクセス先

日にち	内容	Web アクセス先と参照資料
4/3 (水) 8:30-16:30	抽選科目（導入ゼミ、体育、英語Ⅱa/b、英語以外の外国語）の申請。 申請は自宅から大学 HP の「履修抽選申請システム」（注 1）で行う。自宅でネットにつながらない場合、大学の第二共通情報演習室で登録可能。	（注 1）「福井県立大学（以下県大）トップページ」→「在学生の方」→「コンピュータの利用」→「履修登録・抽選・健康診断照会」→「履修抽選申請ログイン画面へ」
4/5 (金) 10:30 抽選結果発表  17:00 抽選再申請 締め切り  21:00 頃 再抽選結果 発表	抽選科目の結果発表。 抽選科目を申請した登録画面の「履修抽選結果」で抽選結果を確認。  導入ゼミの抽選に外れた場合、「定員に余裕のあるクラス一覧」（注 2）から受きたい授業を選択し、記載されたリンク先の Google フォームから、 <u>5 日の 17:00 までに再申請を行う</u> 。導入ゼミの再抽選申請がない場合、大学で任意のゼミに割り振ります。  導入ゼミの再抽選の結果は、つぐみ掲示板の「再抽選結果のお知らせ」で発表。	（注 2）「定員に余裕のあるクラス一覧」の掲示は「県大トップページ」→「学生専用」（パソコン画面右上）→「令和6年度前期オリエンテーション」を確認のこと。  英語Ⅱa/b、英語以外の外国語、体育の抽選科目に外れた場合、「定員に余裕のあるクラス一覧」から初回授業時に教員に申請。遠隔授業のクラスは初回授業の Zoom に出席して教員に申請。LMS や GC でのみ授業を実施するクラスは教員に初回授業までにメールで申請。
4/8(月)	授業開始。 導入ゼミ、体育、外国語は、抽選で決定した授業へ。英語Ⅰ、情報基礎演習は指定されたクラスへ。その他の科目は、希望する授業に自由に参加する。	
4/5(金)17:00 - 4/19(金)13:00	抽選科目以外の履修登録。  アオッサ開講科目、地（知）の拠点科目は 4/10（水）13:00 までに履修登録。	『履修の手引き』冊子 18 ページ 「第 2 章 履修登録」参照 4/10（水）13 時～4/11（木）17 時履修登録できない。
4/22(月) 13:00 - 4/26(金) 13:00	履修登録確認期間。 必ず Proself（注 3）で「履修登録確認表」を出力し、登録を行った講義が正しく記載されていることを確認する。画面上での確認だけでは登録されていない可能性がある。	（注 3）「Proself」について 「県大トップページ」→「在学生の方」→「コンピュータの利用」→「Proself」 ※詳細は、上記「コンピュータの利用」→「学務関連のオンライン配布文書の閲覧・取得の方法」参照

## 導入ゼミ・体育・外国語・情報・自由科目の説明

科目名の前にあるマークの●は必修科目、○は選択科目、◎は選択必修科目です。

### ■導入ゼミ・教養ゼミ (新入生が大学での勉強のしかたを学ぶ少人数授業)

#### 1. ゼミの種類

- 導入ゼミ 前期開講の必修科目。全員が水曜2限に一齐に受講する。
- 教養ゼミ 後期開講の選択科目。基礎科目。

#### 2. 希望ゼミの登録手続き

25クラスから第1～5希望を選んで4/3に履修抽選申請を行う。

#### 3. 導入ゼミ(水曜2限)テーマ一覧 ※1つのテーマしか履修できないので注意

テーマ	教員名	テーマ	教員名
東洋を語ろう	亀田	マンガから始める自閉症の理解	清水聡
文芸作品との対話	木村小	子どもの放課後を考える	加藤ま
ちょっと考える	大石	「学校あるある」を考える	國崎
アフリカにふれる	杉村	なぜ?から考える科学	石丸
「知」の探求	塚原	論理的な文章を書こう	根田
テレビを読もう	山川	たのしい作文?	渡邊浩
健康を科学する	石原	ヨーロッパの歴史と文化	松本
社会を科学する入門	山本涼	プレゼンテーション練習と生命科学の基礎英文	林
福祉とジェンダー	北	身近な化合物のヒミツを伝えてみよう	黒川
J-POP 論	村井	恐竜を科学的に考える	柴田他
地域ビジョン論	高野	図表からみえる日本の姿	田中裕
地域研究入門	加藤裕	探そう!ふくいのバリアフリー	上谷・藤田
ストレスと心の健康	黒田		

導入ゼミの  
各テーマの  
詳しい内容は、  
シラバスを見て  
確認しよう。



シラバス QR コード

※履修登録時の講義名には、テーマが記載されないため、「教員名」を確認すること。

### ■体育

4/3に履修抽選申請をする。

#### 1. 体育の種類(科目)

- 体育実技Ⅰ：必修科目。団体種目。できるだけ1年次のうちにとりましょう。
- 体育実技Ⅱ：選択科目。個人種目。
- 体育実技Ⅲ：選択科目。学外施設利用。集中講義。

前期：スクーバダイビング 後期：ユニバーサルスポーツ

各科目(種目ではない)1単位ずつ履修できるので、最大で3単位修得できます

#### 2. 体育履修の際の注意点

前期に「体育実技Ⅰ(必修科目)」を履修できるのは、新入生の約半分

後期に残りの半分の学生が履修できるので、前期の抽選にもれても問題ありません。

教員免許状の取得を考えている学生は、「体育実技Ⅰ(必修科目)」に加えて、「体育実技Ⅱ」または「体育実技Ⅲ」を履修し、体育で2単位が必要です。

### ■外国語

卒業に必要な外国語の単位は8単位です。ただし、基礎科目を合計15単位以上取らなければならないので、実際には多めに取ることを考えて計画しましょう。

## 1. 外国語の種類

- 英語Ⅰ：必修科目。週1コマ。指定のクラスに参加する（配布資料：英語Ⅰクラス指定を参照）。
- ◎英語Ⅱa/b：選択必修科目。週1コマ。ⅡaかⅡbのどちらかを必ず履修しなくてはならない。
- 英語以外（中国語、韓国朝鮮語、ドイツ語、フランス語、ロシア語）：選択科目。週2コマ。
- 外国語特講：選択科目。毎年異なった言語を学ぶ外国語の特別講義。週1コマ。

## 2. 英語 履修の際の注意点

「英語Ⅰ」：前期のみ、週1コマ、1単位。クラス指定なので、登録不要。

「英語Ⅱa/b」：週1コマ、1単位。4/3に希望の授業を申請する。内容は「リーディング」「リスニング」「ライティング」「スピーキング」「TOEIC」など

- ・ 英語Ⅱa：授業が主に英語で行われるクラス
- ・ 英語Ⅱb：授業が主に日本語で行われるクラス

「英語基礎」（準備科目 1単位）：1年次前期、週1コマ（水曜5限）

履修対象者は、別途指定する。卒業要件の単位には算入されないが、履修対象者には「英語Ⅰ」の単位修得要件となる。

「英語特論」（自由科目 2単位）

1年次生は、担当教員の許可により受講可（メールで連絡すること）。

## 3. 英語以外の外国語 履修の際の注意点

4/3に希望の授業を抽選科目申請する。

いずれの言語も必ず週2回ある授業をセットで受講しなければならない。

「ロシア語」は2人の先生が週1回ずつ担当するが、片方だけの履修はできない。

## 4. 短期海外英語研修

「LEAP」研修先は「アメリカ」「イギリス」「オーストラリア」「カナダ」

※LEAP 詳細はウェブサイトを参照してください。

<https://guideleap.wixsite.com/english>



LEAP 詳細

QRコード

## ■情報・数理

### 1. 学内 Wi-Fi への接続作業

4月2日（火）～3日（水）に、遠隔授業を受講する予定のある学生や希望者を対象に、パソコンやスマホを学内 Wi-Fi に接続する作業を行います。

#### 持参するもの

- ・ ユーザ ID 通知書
- ・ 学内 Wi-Fi に接続したいパソコンやスマホ等

詳細は、Web サイト：<https://sites.google.com/g.fpu.ac.jp/wi-fi/> を参照してください。（閲覧するには、ユーザ ID 通知書に記載されたメールアドレス、パスワードを使ってログインしてください。）



### 2. 情報科目の種類

- 基礎科目（1単位）
  - ・ 情報基礎演習（選択必修科目）：
  - ・ 情報処理基礎演習、統計処理演習（選択必修科目）：1年次後期より
- 自由科目（2単位）
  - ・ 情報処理、プログラミング（選択科目）：1年次後期より

- 情報科学Ⅰ（必修科目）：1年次後期
- 情報科学Ⅱ（選択科目）：2年次より

### 3. 「情報基礎演習」について

大学での学修や社会生活に必要な ICT リテラシー（パソコン操作に関する基本的な知識と技能）を修得する。1年次前期は原則これを履修する。「情報基礎演習 クラス指定一覧表」を確認し、指定のクラスに参加すること。

#### 初回の授業時持参するもの

- ユーザID 通知書
- 学内 Wi-Fi に接続したいパソコンやスマホ等(4/2, 3 に Wi-Fi 接続作業を行った学生は不要)

### 4. 「全学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」について

- リテラシーレベル  
多様な専門分野に応用できる数理・データサイエンス・AI の基礎的素養を身に着けることを目的としたプログラム（文部科学省認定）1年次後期開講科目から履修する。
- 応用基礎レベル  
数理・データサイエンス・AI を活用・応用できる能力、現実の課題を解決する為の実践的な能力を育成する。

詳細は、Web サイト：<https://sites.google.com/g.fpu.ac.jp/fpu-mdash/>を参照してください。



## ■自由科目

4/8の授業開始後に履修登録をする。

### 1. 自由科目の種類

OA 群：大人数で受講する講義形式の授業

（例）社会学、哲学、地理学、環境論、福井を学ぶ、など幅広い分野から多数の科目。

注意点 「V 福井と地域社会」のカテゴリーから必ず1科目以上を選択すること。

OB 群：少人数クラスによる授業

（例）言語文化 [2年次以降]、情報処理、プログラミング [1年次後期以降] など。

OC 群：少人数のゼミ形式の授業

（例）学術ゼミ、英語特論（上記）など。

## 自分の時間割を作る

### 一般的な注意点

- 「一般教育」の英語Ⅰ・情報基礎演習等の必修科目は1年生向けに事前に、導入ゼミ・体育・英語以外の外国語・英語Ⅱa/b等の抽選科目は抽選で、クラス分けされ時間割を指定されます。
- 『履修の手引き』の各学科の「カリキュラム表」にあるように、「専門教育」は履修年次ごとに科目が配置してあります。さしあたり1年次配当分から選んでください。
- 1年次配当でも時間割に科目名が載っていないものは、後期の開講か今年度不開講になります。
- 時間割で●●のマークがある科目は、週2コマの履修が前提になっている科目です。従って、それらを履修するには2コマ両方を登録する必要があります。
- 看護福祉学部以外の学部では、履修登録できる単位数にCAP（キャップ）という制限があります。

経済学部と生物資源学部は年間 49 単位以下、海洋生物資源学部は各学期 24 単位以下(通年科目は省く)です(集中講義はこの枠から外れます)。前期に登録しすぎて勉強が追いつかず、たくさん不合格になったので後期で取り返そうとしても、CAP のせいに登録できない、ということがありえます。詳しくは『履修の手引き』4ページの(6)を読んでください。

**時間割の作り方の手順** 以上を踏まえ、以下の順番で時間割のコマを埋めていきます。

■第1段階(ここまでは時間割表に記入されています)

あらかじめ時間割の中で自分に指定されている科目を確認します。『履修の手引き』(9ページ)と時間割を見比べながら、次の1から4の順番に埋めてゆきます。

1. 専門の必修科目を確認して、コマを埋めます。
2. 水曜日2限目は「導入ゼミ」。(マニュアル4ページ目やシラバスを見て選び、「履修抽選申請システム」で抽選申請を行う。詳細は『履修の手引き』冊子12ページ参照)
3. 自分に指定された「英語Ⅰ」のクラス。(Web履修登録は不要)
4. 自分に指定された「情報基礎演習」のクラス。(Web履修登録は不要)

■第2段階

抽選に参加しなければならない体育と外国語の時間割を決めます。これは4/3に「履修抽選申請システム」で抽選申請を行います。

※ 以下、「第1希望～第3希望」のセットを入力する形になっていますが、第2希望・第3希望を必ず入力せねばならないわけではありません。無理矢理第3希望まで埋めたりしないようにしましょう。

5. 時間割でコマの位置を確認して、「体育実技」のクラスを最大3つまで、希望順に入力してください。
  - ・「体育実技Ⅰ」は必修科目、「体育実技Ⅱ」は選択科目です。
6. 外国語の希望を入力します。
  - ・【英語のみを履修したい場合】→7に進んでください
  - ・【英語以外の外国語も学びたい場合】
    - 「英語以外の外国語」は週2コマで1セットになっています。時間割をよく見てコマの組み合わせを確認し、「履修抽選申請システム」のメニューから希望順に申し込んでください。
7. 英語Ⅱa、Ⅱbから選びます。これは週1コマです。時間割でコマの位置を確認して、希望の科目名を選び、「履修抽選申請システム」から申し込みます。
  - ※ 1セットの希望を出すと、そのうち1科目だけが当選する可能性しかありません。英語をもう1クラス学びたい場合は、もう1セット希望を出しましょう。

抽選の結果を確認して、時間割を埋めます。語学については、第1段階と第2段階で、必修の「英語Ⅰ」、選択必修の「英語Ⅱa/b」、選択科目の「英語以外の外国語」で計4コマの外国語をとれるようにするのが標準的です。

■第3段階

残りの空いたコマに一般教育の自由科目や、専門の選択科目を入れていきます。無理な取り過ぎに注意しましょう。『履修の手引き』4ページの(6)と23ページの表をよく理解した上で、何コマとるかを決めてください。全体で17コマ前後が標準でしょう。

### ■教職免許を取りたい人は

「教育職員養成課程」を履修する場合は、各学科の卒業要件単位を越えて単位を取得する必要があります。『履修の手引き』(216ページ以降)をしっかりと読んでください。詳しい説明を、木曜1限目の教育心理学と金曜5限目の教師論の授業で行いますので、教職に関心のある人は参加してください。

### 履修方法がわからない人は（質問や相談先）

- 授業や履修についてわからないことがあれば、まず「**一般教育の履修に関するQ&A集**」(<https://sites.google.com/g.fpu.ac.jp/guidance>)を見てください。県大のメールアドレスとパスワードでログインし、サイトにアクセスしてください。
- 履修個別相談(4/2 12:10~14:00、15:30~16:30アトリウムにて)でも詳しい教員に相談できます。
- 4/3の抽選科目申請の時間にも、第二共通情報演習室やZoom(県大HP「令和6年度前期オリエンテーションについて」にリンクあり)で質問できます。それでも解決しない場合は、学生相談担当の教員(「学生生活の手引き」(学生相談)参照)や、導入ゼミの担当教員に相談しましょう。



一般教育の履修に関するQ&A集  
QRコード

※ 県大HP「令和6年度前期オリエンテーションについて」中の「ガイダンス補足資料」も参照してください。時間割の作り方についても載っています。